

サービス業

業況、売上、採算

今期（2021.4～6）の業況判断DIは▲30.5で、前年同期(2020.4～6)と比べ33.8ポイント上昇し、大幅に好転しました。

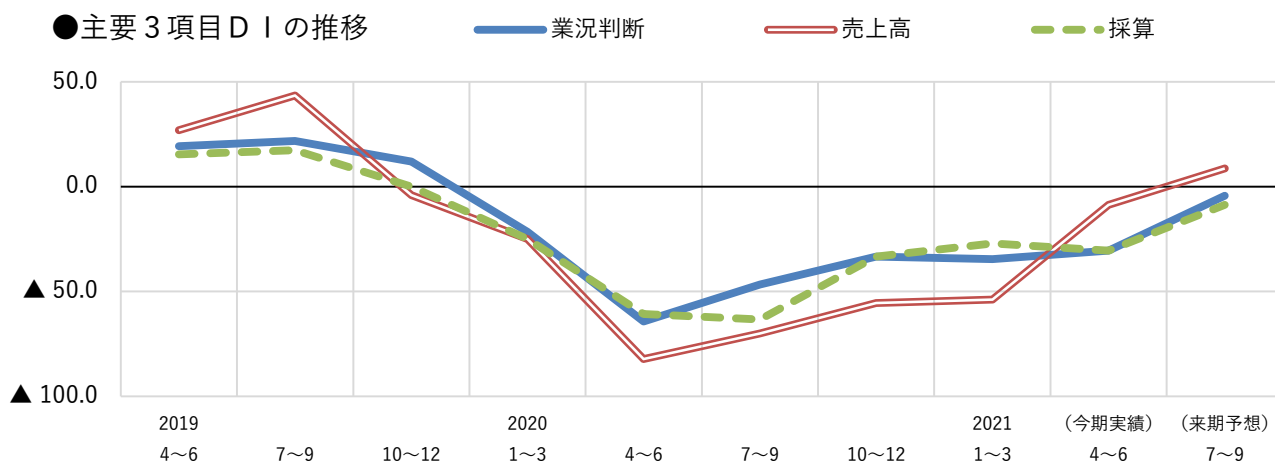
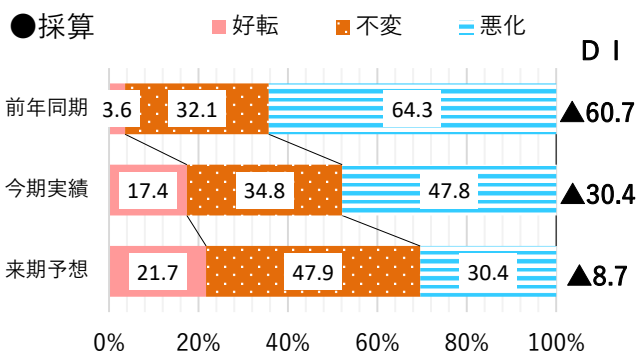
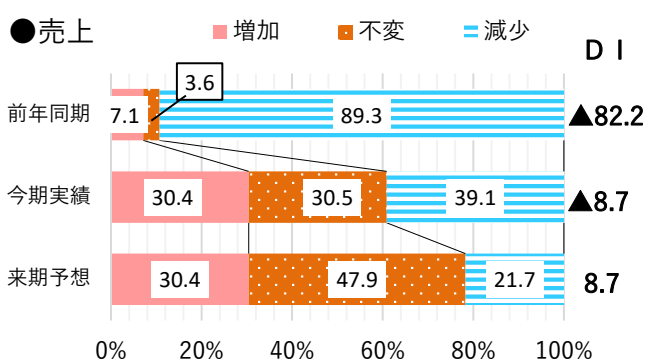
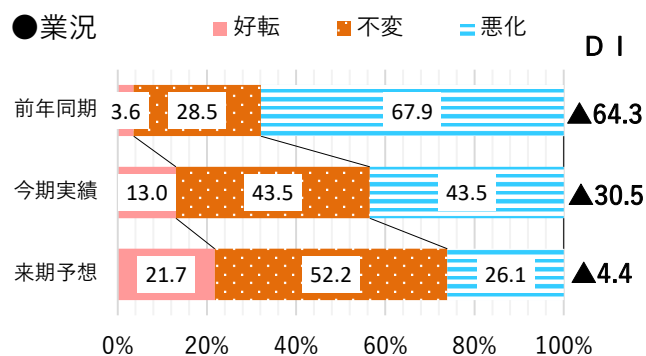
来期（2021.7～9）は、業況の悪化傾向が弱まると予想しています。

今期の売上高DIは▲8.7で、前年同期と比べ73.5ポイント上昇し、大幅に増加しました。

来期は、売上が増加に転じると予想しています。

今期の採算DIは▲30.4で、前年同期と比べ30.3ポイント上昇し、大幅に好転しました。

来期は、採算の悪化傾向が弱まると予想しています。



客単価、利用客数、仕入単価

今期の客単価DIは▲22.8で、前年同期と比べ32.8ポイントと大幅に上昇しました。

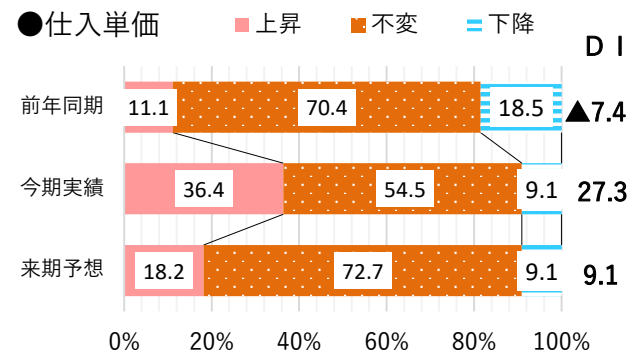
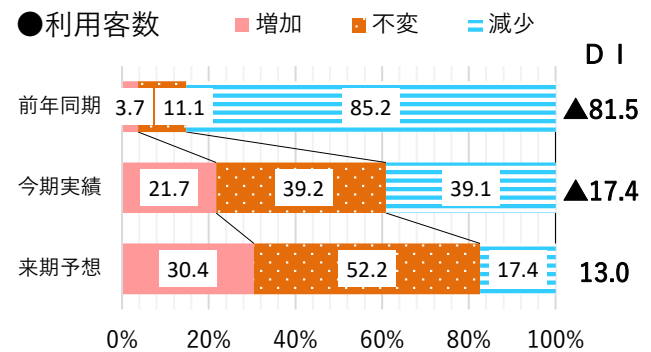
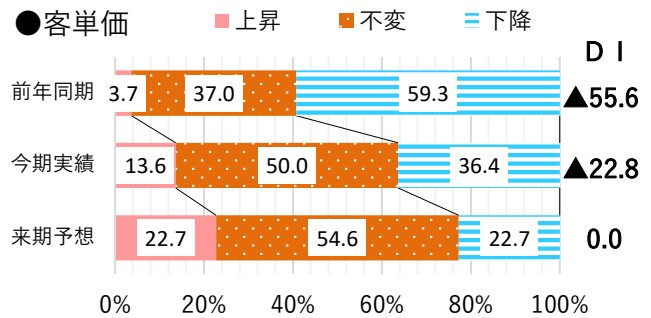
来期は、客単価の下降傾向が弱まると予想しています。

今期の利用客数DIは▲17.4で、前年同期と比べ64.1ポイント上昇し、大幅に増加しました。

来期は、利用客数が増加に転じると予想しています。

今期の仕入単価DIは27.3で、前年同期と比べ34.7ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

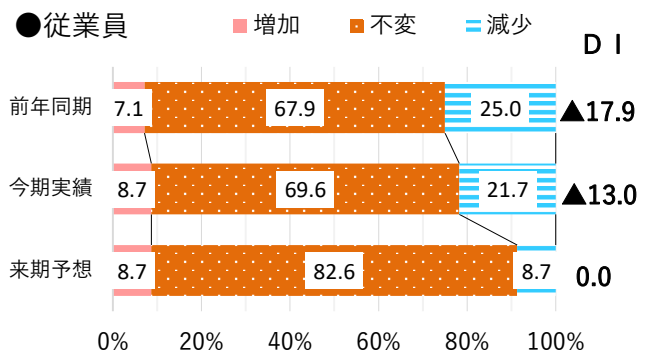
来期は、仕入単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



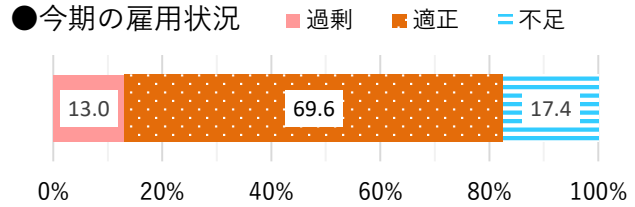
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員数DIは▲13.0で、前年同期と比べ4.9ポイント上昇しました。

来期は、従業員数の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業の割合は13.0%、適正であると回答した企業の割合は69.6%、不足していると回答した企業の割合は17.4%でした。



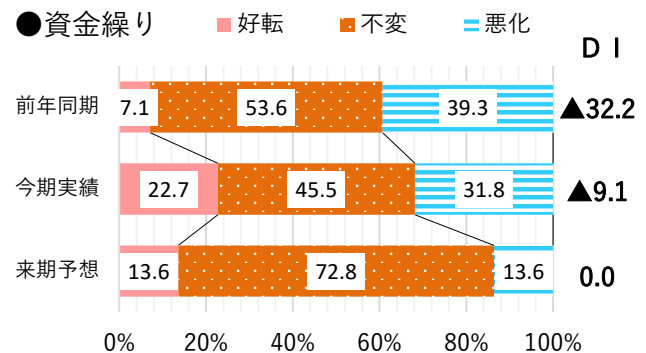
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、サービス業全体の56.5%を占めています。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	2
	適正	0
	不足	0
不変だった	過剰	1
	適正	13
	不足	2
減少した	過剰	0
	適正	3
	不足	2

次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で減少し、充足している」という回答でした。

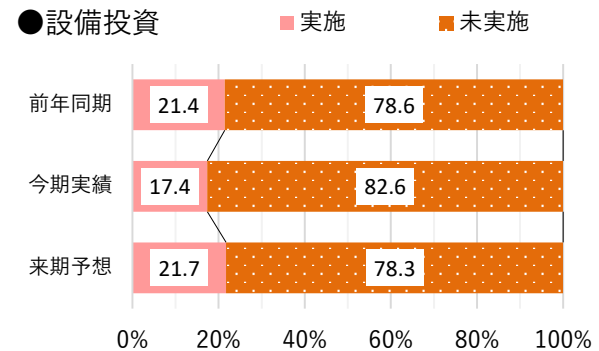
資金繰り、設備投資

今期の資金繰りDIは▲9.1で、前年同期と比べ23.1ポイント上昇しました。



来期は、資金繰りの悪化傾向が弱まると予想しています。

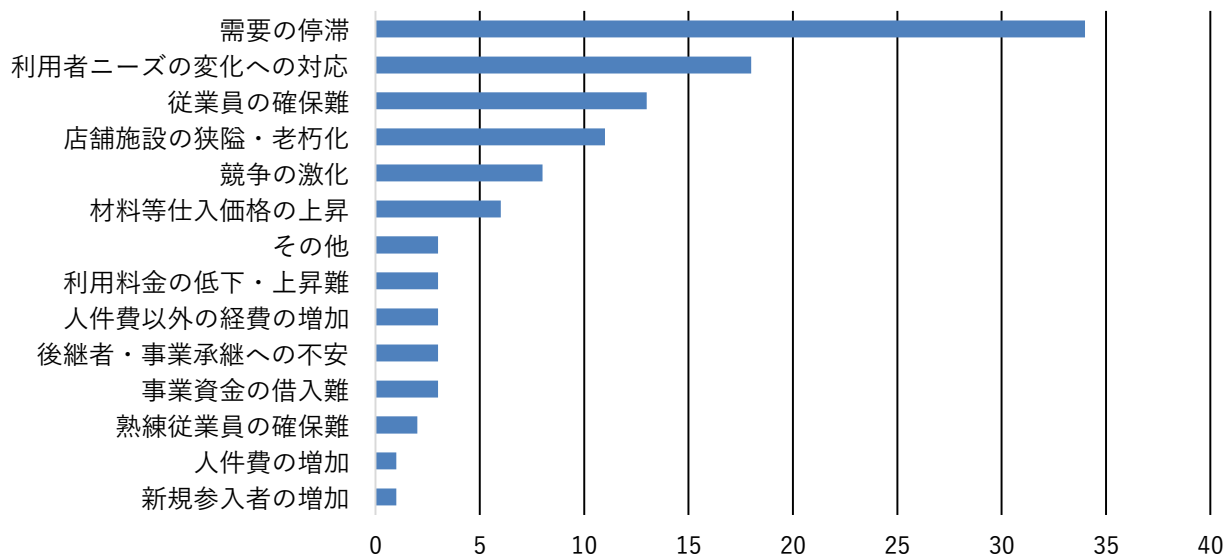
設備投資を実施した企業の割合は17.4%で、前年同期と比べ4.0%減少しました。投資内容は、1位が「車両運搬具」、「OA機器」（同位）、2位が「土地」、「建物」、「サービス設備」、「付帯施設」、「福利厚生」（同位）の順です。



来期に設備投資を計画している企業の割合は21.7%で、増加を予想しています。

経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」、2位が「利用者ニーズの変化への対応」、3位が「従業員の確保難」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 緊急事態宣言に伴う休業要請により、売上が減少した。（飲食店）
- 従業員が有休を最低5日取得しなければならないため、余剰人員を確保しているが、今後の給与負担が大きくなる可能性がある。（廃棄物処理業）
- 観光業、飲食店の売上が減少した影響で、自社の業況が悪化した。（廃棄物処理業）
- 昨年同期と比べ、変化は無い。（保険業）
- 全てにおいて悪化したが、仕入価格の見直しと人材確保に努め、従業員のスキルに合わせた最低賃金の引き上げに取り組みたい。（出版業）
- 新型コロナウイルスの影響でリモート授業が増加し、地元での受講者が増加した。（教養・技能教授業）
- 利用者は減少したが、客単価の増加によって売上が増加した。（スポーツ施設）
- 新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、旅行の問合せが増えているが、業況が好転するには時間がかかると思う。（旅行代理店）
- 昨年同期の業況が非常に悪かったので、前年同期比の業況は好転となった。4月から料金を改定したため、客単価が少し上昇した。従業員が有休を取得しやすくしている分、人手不足が生じている。1年かけてお客様が密集しない空間づくりに取り組んだ。（美容業）
- 前年同期は学校の休校や企業の休業により売上が減少したが、今期はやや回復した。（写真業）
- 客数は1日あたり3～5名程度で、仕入単価は5%程度上昇している。（写真業）

[来期の業況について]

- 緊急事態宣言解除後の消費行動の回復に期待する。（飲食店）
- ワクチン接種が進み、人出が回復すれば好転に期待できる。（飲食店）
- 新型コロナウイルスが終息しても、市の経済が大幅に回復するとは思えない。（廃棄物処理業）
- 事業を見直し、臨機応変に仕事に取り組む。（出版業）
- ワクチンが国民に行き渡れば、好転すると思われる。（保険業）
- 今までが好調だった反動として、業況の悪化を懸念している。（教養・技能教授業）

- ワクチン接種の状況に左右される。（旅行代理店）
- ワクチン接種が進んでいれば、通常通りの営業に戻ると思う。（スポーツ施設）
- 新規客は少ないと思われるので、写真のネット販売に取り組みたい。（写真業）
- 今までの状況を踏まえると、今期と変わらないと思う。（美容業）